

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年2月13日

【四半期会計期間】 第43期第3四半期(自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)

【会社名】 イマジニア株式会社

【英訳名】 Imagineer Co.,Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長兼CEO 澄岡 和憲

【本店の所在の場所】 東京都新宿区西新宿二丁目7番1号

【電話番号】 03(3343)8911(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員CFO 中根 昌幸

【最寄りの連絡場所】 東京都新宿区西新宿二丁目7番1号

【電話番号】 03(3343)8911(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員CFO 中根 昌幸

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第42期 第3四半期 連結累計期間	第43期 第3四半期 連結累計期間	第42期
会計期間	自2018年4月1日 至2018年12月31日	自2019年4月1日 至2019年12月31日	自2018年4月1日 至2019年3月31日
売上高 (千円)	3,845,239	3,283,334	5,164,880
経常利益 (千円)	596,195	492,206	750,991
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	400,887	306,122	503,615
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	483,420	332,175	674,250
純資産 (千円)	9,618,110	9,884,963	9,808,940
総資産 (千円)	10,525,122	10,785,432	10,671,101
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	41.76	31.89	52.47
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)			
自己資本比率 (%)	90.7	90.7	91.1

回次	第42期 第3四半期 連結会計期間	第43期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自2018年10月1日 至2018年12月31日	自2019年10月1日 至2019年12月31日
1株当たり四半期純利益 (円)	15.72	15.24

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
 2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
 3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

なお、関係会社の異動につきましては、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)」に記載しております。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出が弱含むなかで製造業を中心に弱さが一段と増しているものの、緩やかに回復しております。ただし、先行きについては、米中通商問題を巡る緊張、中国経済の先行き、英国のEU離脱の行方、中東地域を巡る情勢、消費税率引き上げ後の消費者マインドの動向等のリスクがあります。

当社グループは、創業以来の事業であるコンテンツ事業に経営資源を集中し、当該事業の更なる成長により企業価値の向上を目指してまいります。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高3,283,334千円（前年同期比14.6%減）、営業利益434,952千円（前年同期比16.5%減）、経常利益492,206千円（前年同期比17.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益306,122千円（前年同期比23.6%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

（コンテンツ事業）

コンテンツ事業の売上高は3,282,882千円（前年同期比14.6%減）、セグメント利益683,842千円（前年同期比12.5%減）となりました。

当該事業の更なる成長を目指して、スマートフォン向けゲームを軸としつつパッケージソフトやリアル商品など他のコンテンツビジネスへの領域拡大やコンテンツビジネス間のシナジーを一層、図るべく取り組んでおります。

主軸のスマートフォン向けゲームにおいては、新たに人気キャラクター「リラクマ」において初めてとなる農園ゲームを2019年8月に提供を開始いたしました。また、人気ゲームシリーズ「メダロット」の最新作をシリーズ初のスマートフォン向けゲームとして2020年1月の提供を目指し開発中であります。

（再生可能エネルギー事業）

再生可能エネルギー事業の売上高は452千円（前年同期比68.1%減）、セグメント損失10,511千円（前年同期は43,936千円のセグメント損失）となりました。

当該事業については事業中止の方針に基づき、2019年7月に事業中止を完了いたしました。

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末と比較して114,331千円増加した10,785,432千円となりました。その主な要因は、現金及び預金が141,578千円、流動資産のその他が40,915千円の増加となったものの、売掛金が120,743千円の減少となったことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して38,308千円増加した900,469千円となりました。その主な要因は、未払法人税等が42,784千円、賞与引当金が24,750千円、固定負債が10,656千円の増加となったものの、流動負債のその他が60,186千円の減少となったことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して76,022千円増加した9,884,963千円となりました。その主な要因は、利益剰余金が49,969千円、非支配株主持分が17,748千円の増加となったことによるものであります。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における当社グループ全体の研究開発活動の金額は191,913千円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	47,480,000
計	47,480,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (2019年12月31日)	提出日現在発行数(株) (2020年2月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	10,649,000	10,649,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	10,649,000	10,649,000	-	-

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (千株)	発行済株式総 数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2019年10月1日～ 2019年12月31日	-	10,649	-	2,669,000	-	667,250

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2019年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 1,051,300		
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,595,100	95,951	
単元未満株式	普通株式 2,600		
発行済株式総数	10,649,000		
総株主の議決権		95,951	

(注)「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、株式会社証券保管振替機構名義の株式が3,300株含まれております。

また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数が33個含まれております。

【自己株式等】

2019年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
イマジニア株式会社	東京都新宿区西新宿二丁目7番1号	1,051,300	-	1,051,300	9.9
計		1,051,300	-	1,051,300	9.9

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(2019年10月1日から2019年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、東陽監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,366,524	6,508,103
売掛金	1,007,846	887,102
有価証券	3,239	3,127
商品及び製品	7,769	9,448
仕掛品	3,472	7,235
原材料及び貯蔵品	19	25
その他	35,254	76,170
貸倒引当金	826	1,159
流動資産合計	7,423,300	7,490,053
固定資産		
有形固定資産	39,966	47,690
無形固定資産	6,946	16,567
投資その他の資産		
投資有価証券	2,719,897	2,734,926
破産更生債権等	120,313	118,763
その他	484,390	499,595
貸倒引当金	123,713	122,163
投資その他の資産合計	3,200,887	3,231,121
固定資産合計	3,247,801	3,295,378
資産合計	10,671,101	10,785,432
負債の部		
流動負債		
買掛金	18,939	31,910
営業未払金	452,628	460,793
未払法人税等	56,257	99,042
賞与引当金		24,750
返品調整引当金	1,488	656
その他	332,846	272,660
流動負債合計	862,160	889,812
固定負債		10,656
負債合計	862,160	900,469
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,669,000	2,669,000
資本剰余金	2,466,023	2,466,023
利益剰余金	5,288,728	5,338,698
自己株式	622,364	622,364
株主資本合計	9,801,387	9,851,357
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	79,887	71,582
その他の包括利益累計額合計	79,887	71,582
非支配株主持分	87,441	105,189
純資産合計	9,808,940	9,884,963
負債純資産合計	10,671,101	10,785,432

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	3,845,239	3,283,334
売上原価	1,696,482	1,397,605
売上総利益	2,148,756	1,885,729
返品調整引当金戻入額	-	832
返品調整引当金繰入額	2,142	-
差引売上総利益	2,146,614	1,886,561
販売費及び一般管理費	1,625,995	1,451,608
営業利益	520,618	434,952
営業外収益		
受取配当金	145,006	63,538
その他	51,478	6,120
営業外収益合計	196,484	69,659
営業外費用		
投資有価証券売却損	118,507	-
持分法による投資損失	2,333	1,039
為替差損	-	11,132
その他	66	234
営業外費用合計	120,906	12,406
経常利益	596,195	492,206
税金等調整前四半期純利益	596,195	492,206
法人税、住民税及び事業税	160,842	167,266
法人税等調整額	19,917	1,069
法人税等合計	180,759	168,335
四半期純利益	415,436	323,870
非支配株主に帰属する四半期純利益	14,548	17,748
親会社株主に帰属する四半期純利益	400,887	306,122

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	415,436	323,870
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	67,983	8,304
その他の包括利益合計	67,983	8,304
四半期包括利益	483,420	332,175
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	468,871	314,427
非支配株主に係る四半期包括利益	14,548	17,748

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

第2四半期連結会計期間において、ストックウェザー株式会社の株式を一部売却したため、持分法適用の範囲から除外しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
減価償却費	12,241千円	9,163千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年5月15日 取締役会	普通株式	143,964	15.0	2018年3月31日	2018年6月7日	利益剰余金
2018年10月31日 取締役会	普通株式	119,970	12.5	2018年9月30日	2018年12月3日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年5月15日 取締役会	普通株式	119,970	12.5	2019年3月31日	2019年6月6日	利益剰余金
2019年10月31日 取締役会	普通株式	143,964	15.0	2019年9月30日	2019年12月2日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	コンテンツ 事業	再生可能 エネルギー 事業	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高					
外部顧客への売上高	3,843,822	1,417	3,845,239		3,845,239
セグメント間の内部 売上高又は振替高					
計	3,843,822	1,417	3,845,239		3,845,239
セグメント利益 又は損失()	781,606	43,936	737,670	217,051	520,618

(注) 1. セグメント利益又は損失()の調整額は、セグメント間取引消去 2,183千円、各報告セグメントに配分していない全社費用214,868千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等にかかる費用であります。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	コンテンツ 事業	再生可能 エネルギー 事業	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高					
外部顧客への売上高	3,282,882	452	3,283,334		3,283,334
セグメント間の内部 売上高又は振替高					
計	3,282,882	452	3,283,334		3,283,334
セグメント利益 又は損失()	683,842	10,511	673,331	238,378	434,952

(注) 1. セグメント利益又は損失()の調整額は、セグメント間取引消去 975千円、各報告セグメントに配分していない全社費用237,403千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等にかかる費用であります。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
1株当たり四半期純利益	41円76銭	31円89銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	400,887	306,122
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	400,887	306,122
普通株式の期中平均株式数(千株)	9,597	9,597

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

2019年10月31日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 中間配当による配当金の金額・・・・・・・・・・143百万円

(ロ) 1株当たりの金額・・・・・・・・・・15円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日・・・・2019年12月2日

(注) 2019年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行っております。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年2月13日

イマジニア 株式会社
取締役会 御中

東 陽 監 査 法 人

指定社員 公認会計士 佐 山 正 則 印
業務執行社員

指定社員 公認会計士 川 久 保 孝 之 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているイマジニア株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2019年10月1日から2019年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、イマジニア株式会社及び連結子会社の2019年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。